

答えは、解答用紙に書きなさい。また、字数制限のあるものは句読点・記号もふくみます。

受験番号

(一) 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(外国語につけた「注:」は、わかりやすいように問題作成者が加えたものです。その他、一部表現を改めたところがあります。)

もう10年以上前になりますが、『世界は言葉でできている』というテレビ番組が放送されていました。私も言葉に関わる仕事をしているため、この番組のタイトルには非常に示唆に富んだものがあると感じ、今も印象に残っています。

言語によって世界ができているという概念を体系として完成させたのが、スイスの哲学者で言語学者のフェルディナン・ド・ソシュールです。

ソシュール以前の人々は、言葉とは世の中に既に存在しているものに後から貼り付けたラベルのようなものと理解していました。たとえば、ある動物を見つけて後付けて「ネコ」という名前をラベリングし、その動物に追いかけられているすばしい動物に「ネズミ」という名前を付けたり……という発想です。もともとそこにあつたモノや生き物に後から名前を付けたということです。

しかしソシュールはそれを、ある意味で正反対に捉えました。というのも、人間が名前を付けようが付けまいが、動物や植物、モノたちはaタイコアタイコの昔からずっと存在していたわけです。区分けや分類も決まっています。

そこへ人が後から現れ、ある日「あの生き物(bゲンミツ)に言えばあそこからあそこまでの範囲の生き物)はネコという名前にしよう」と決定したことで、そこからはじめて「ネコ」という存在になり、他の動物やモノと分別されたということなのです。

ソシュールの考えは、私たちが使っている言語に先だって世の事象があるのではなく、言葉で名前を付けることではじめて存在が浮かび上がり、意味が生まれるということ。つまり、言葉によって世界ができているということなのです。

「オオカミ」の一部が人間に馴染むと、その一部は「イヌ」と呼ばれるようになり、「オオカミ」とは区別されます。言葉とは他の言葉との「差異」により規定される。言語は、「差異の体系」であり、言葉と言葉の違いこそが意味の差異を生み出しているソシュールはいいました。

言葉と言葉の微妙な差異を理解して、使いこなす力。それが言語化力のベースです。ネット社会では、言葉の使い方ひとつで運命が天と地に分かれることはしばしばあります。語彙力が低く言葉を正しく構成できない人は、ビジネスシーンでも私生活の場でも、精緻で厚みのある会話や文章表現ができません。(1) 言語化力が低い人として生きていかなければならないのです。

いうまでもなく、Aという文化圏の言葉はBという文化圏の言葉とあらかじめセットになって作られているわけではありません。

(2) 「木」と「wood」(注:ウッド)は違いますし、「肉」と「meat」(注:ミート)もイコールではありません。

「おはよう」と「good morning」(注:グッドモーニング)は一式のセットではないですし、意味も同じではありません。日本語の「お早いですね、ご苦労様です」と、英語の「今日も素晴らしい朝ですね」というニュアンスは違いますし、(3) 言葉としての成り立ちが違います。「どちらも朝の挨拶として使われているから」と同じ組に分類して並べているだけで、それぞれの言語圏、それぞれの歴史の中で、互いに干渉することなく使われ続けてきたまったく別の言葉です。

言語を学ぶには、その背景にある文化までを含めて理解することが重要です。

一般に日本語の「いい(良い)」「は英語では「good」、フランス語では「bon」(注:ボン)と訳されることが多いですが、当然ながらこの3つも、数学的なイコールで結ばれている関係性ではありません。日本人にとつての「良」の意を示す語として、比較的近い意味を持つという理由で便宜的にくっつけて整理されているだけなのです。

ちなみに、引越作業などで大きな荷物の受け渡しをするとき、日本語だと、受け取る側が「いいよー」などといったりしますが、アメリカ人はそんなときに「good」とはいいません。(4) フランス語では「大丈夫だよ」の意味で「c'est bon (セボン)」と返したりしますので、その部分においては「いい」と「bon」は共通していることとなります。

つまり、異なる言葉の持つ意味の範疇が重なる部分とそうでない部分があるということなのです。そのうえで、「いい」「good」「bon」

受験番号

においては、肝となる「良」という意味の部分が重なるがゆえ、この3語を私たちは「同じ意味の単語」として整理しているわけです。そういった以前、日本語を覚えてきた英語圏の方と話していたとき、その人が手に食べ物を持ち、それを指さしながら「年寄り」といったことがあります。最初は一体何のことかと思っただけですが、その人は「古い」といいたかったのです。「これ、もう古いみただから、食べないほうがいいよね」と伝えるつもりで、英語の「old」（注：オールド）を日本語の「高齢」の意味に訳してしまっただけです。

もちろん、これはひとつの笑い話ですが、「old」と「古い」はイコールではないことがわかります。いずれにせよ、言葉とは可能な限り精緻に理解して使うのが理想です。「木」と「wood」を単純に同じ意味として括ることなく、差異を明確に区別する。それが正しい言語化に繋がるのです。

このように、コミュニティによって言葉の精度や解釈の深さは異なり、それぞれ独自の文化や価値観が反映されます。唐辛子の消費量が日本より遥かに多い韓国では、日本語の「辛い」に相当する言葉が20種ほどあるといわれています。

「口から火の出る辛さ」「じわじわと来る辛さ」「口内がスーツとする辛さ」など、食材ごとの味わいにより細かく使い分けられています。ニンニクの辛さと生姜の辛さも別の単語を使うことが多いといわれています。

北欧のフィンランドでは「雪」を表す言葉が非常に多く、駐日フィンランド大使館のX（旧ツイッター）の公式アカウントによると、雪の固さや湿り気などの状態によって40以上の言葉を使い分けられているそうです。

日本で出世魚と呼ばれる魚は、同じブリでも成長段階によって呼び名を4つくらいに分けて表現します。しかし英語ではブリはもちろん、ヒラマサやカンパチなどもひっくり返して「イエローテイル」の1語で括られるのが通常のようなのです。

「山紫水明」とは自然の景観を表現した日本の言葉ですが、ここでいう「紫」とは、山々が日の光の中で紫色のごとく目に映る様子を表しており、湿潤地である日本ならではの表現とされます。乾燥した南米の高地やアフリカの砂漠地域などでは、なかなか生まれることがなさそうな言語表現です。

ちなみに、この語は江戸時代の文人、頼山陽が京都の鴨川近くの書齋から見た東山と鴨川の様子を表現したものです。個人の体験が普遍的な言葉になることもあります。これぞ言語化力の極みです。

その土地ならではの言葉が必然として生まれ、そこで暮らす人々の心情が彩られていく。コミュニティの差異の中でそれぞれの言語が固有の発展を続け、風土に応じた意味を持ちながら言語表現がなされてきたのです。

こうしたことは、国の違いに限ったことではありません。たとえば、ある地方の中山間地に住む知人と電話で話したときの会話を挙げましょう。

齋藤「今そっち、雪降ってるの？」

知人「いや、降ってるっていうほどじゃないな」

齋藤「あれ、降ってないのか」

知人「うん。舞っているっていう程度だよ」

雪が「降る」と「舞う」の日本語としてのニュアンスの違いは、もちろん私もわかります。しかし、このように日常の会話の中であって「降る」を否定して「舞う」に訂正するという感覚はあまりありません。

しかし、年間を通じた降雪量が東京の都心部より遥かに多く、雪とともに暮らしている地域の人たちは、「降る」と「舞う」の差異をここまではっきりと使い分けているわけです。フィンランドの人が雪を細かく分けて表現するのと同じです。

このように、同じ事象を言葉でどれくらい細かく区切るかは、国や地域の風土にユダヤ文化はかならずしも一致していません。雪が降っている」と同じことをいっていても、頭の中に描いているイメージはかなり違っているのかもしれない。

受験番号

これがビジネスの話であれば、たとえばA社とB社が同じ業種や業態であっても、企業文化はおそらく異なりますから、社によっていいまわしや言葉の使い方も同じではないでしょう。こちらが伝えたつもりでも伝わっていないかったり、別のニュアンスで誤って受け取られてしまう可能性もあるのです。

コミュニケーションが変われば言語表現も変わります。人が言葉で表現する意図を真に理解するには、背景までを含めて緻密かつ繊細に知る必要があるということです。

言語を考えるうえでは身体との関係性も大事になってきます。言語とは単なる記号の集合体ではなく、受け継いできた意味を持っていきます。国や地域の歴史や伝統、慣習の中で作られてきた思想の蓄積であり、生活文化として身体に深く染み込んでいるものです。

早稲田大学で教鞭を執られた、故・芦田孝昭教授は、著書『中国の故事・ことわざ』（現代教養文庫）で次のように述べています。「コトバを知ることとは、たんに単語をオボエルことだけでなく、それを使う人の気持ちを知ることに通じるといっていいだろう。そこをおさえてみなければ、われわれの言語活動は生長しないし、チエも生長しない」

また、「はじめに」でも触れた上野誠先生は、著書『「令和」の心がわかる万葉集のことば』（幻冬舎）の中で、「日本語を使うということは（略）日本語の伝統のなかでものを考えるということにほかならない」と述べています。

私たちが英語を話すときに、日本語の感覚を切り離してモードチェンジをしないとうまく話せないのも無理ないのです。わかりやすいところでは、肩をすくめたり、表情や身体の動きを大きく変えてみたり、いわば「アメリカ人っぽい自分」に人格を憑依させて話す感覚でしょう。

つまり、「X」ということです。

NHKのイタリア語講座を見ていると、出演者たちのボディランゲージが、私たち日本人より大きいことがわかります。彼らにとつてあの身体の動きや表情は、話し言葉と切り離せないものであり、それを含めて「イタリア人の言語化の形」なのです。イタリア語が堪能な知人が、「彼らがもし手足を縛られてしまったら会話ができないと思うよ」と冗談半分で話していましたが、その意味がわかる気がします。

人にはその言語に合った話し方、イントネーション、あるいは言葉の質や発音の仕方があります。身体性が根本にあり、そこから言語が作られる。いい換えれば、私たちは言語を通して日本語的な身体や思考を手に入れているということです。

言語という、いわば文化dイサンを継承して生きているにもかかわらず、そのことを深く理解していないために言語化が不得手という人も実際は多いのです。

(齋藤孝『最強の言語化力』)

注 1 範疇…本文では「範囲」と同じ意味。

2 コミュニティ…人々の集まり。共同体のこと。

3 憑依…のりうつって、心や身体に影響をあたえること。

4 堪能…すぐれていること。

問一 ——線 a～d のカタカナを、漢字に直しなさい。

問二 (1) (4) に入る、最もふさわしいことばを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。(記号は一度しか使えません。)

ア そもそも イ それとも ウ ところが エ たとえば オ すなわち

問三 ——線「言語によって世界ができています」とありますが、ソーシャルの考えでは、どういふことだと述べられていますか。最もふさわしいことばを、本文より三十～三十五字でぬき出して最初と最後の五字を、解答らんに入合形で答えなさい。

受験番号

問四 本文中の「言語化力」について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

- 1 どのような力だと述べられていますか。最もふさわしいことばを、本文より二十〜二十五字でぬき出して答えなさい。
- 2 この力がない場合に、心配されることについて、次のように説明しました。空らんに入る、最もふさわしいことばを、本文より指定された字数でぬき出して、それぞれ答えなさい。
異なる共同体の相手とは(ア 十一字)が違っていることにより、相手の意図を真に理解できていない可能性があり、仕事や私生活での会話において、(イ 八字) 会話ができなくなるということ。

3 この力の究極の形として、筆者が挙げている言葉について、次のように説明しました。空らんに入る、最もふさわしいことばを、本文より指定された字数でぬき出して、それぞれ答えなさい。

その言葉は、「(ア 五字以内)」である。なぜ究極かという点、通常は、コミュニティ内部にすでにある言葉を一人ひとりが使うのだが、逆に、(イ 十〜十五字) になった例だからである。

4 この力を身につけるために必要なことについて、次のように説明しました。空らんに入る、最もふさわしいことばを、本文より指定された字数でぬき出して、それぞれ答えなさい。ただし、アは最初と最後の五字を答えなさい。

言語とは、(ア 五十〜五十五字) だということを認識して、学ぶことが必要である。たとえば、日本語を学び話す場合は、言語を通して、(イ 十字) を獲得かくとくしている、ということをも、認識しながら学ぶ必要がある。

問五 空らん【X】に入る最もふさわしいことばを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 集団を変えると言語も変わる
- イ 思考を変えると身体も変わる
- ウ 身体を変えると言語も変わる
- エ 言語を変えると思考も変わる
- オ 人格を変えると言語も変わる

問六 本文の内容として、正しいものに○、まちがっているものに×をつけなさい。

ア 筆者は、ソーシャル以前の人々は、言葉を、世の中に存在する、区分けや分類も決まっていないものに、後から貼り付けたラベルのようなものと理解していて、だからこそ、「オオカミ」の一部が人間に馴染むと、その一部は「イヌ」と呼ばれるようになり、「オオカミ」とは区別されるようになった、と述べている。

イ 筆者は、「いい」「good」「bon」は、それぞれの言語圏で互いに干渉されることなく使われてきた全く別の言葉で、日本人にとっての「良」の意を示す語として比較的近い意味を持つという理由で便宜的にくっつけて整理されているが、言葉の持つ意味の範囲が重なる部分とそうでない部分がある、と述べている。

ウ 筆者は、日本語を覚えたての英語圏の人が、食べ物を指しながら「年青り」といったことについて、英語の「old」に「高齢」と「古い」の両方の意味が含まれているのに、日本語の「古い」には「高齢」という意味がない、つまり2つの言葉がイコールでないことへの不理解から起こったことだと考え、笑い話として述べている。

エ 筆者は、唐辛子の消費量が日本より多い韓国で日本語の「辛い」に相当する言葉が多いことや、英語では「イエローテイル」とひと括りに表現されてしまうブリが、日本では成長段階によって呼び名を4つくらいに分けて表現されることを、言葉の解釈は同じであるが独自の文化や価値観が反映されている例として、述べている。

オ 筆者は、早稲田大学の芦田孝昭教授や、上野誠先生のことばを引用しながら、コミュニティの中で、人々は言葉を使っているにもかかわらず、言語化が不得手である人が多い理由を述べていて、その最も大きな理由は、日本語を論理的にばかり捉えていて、表現されている心情を理解しないことだ、と述べている。

(二) 次の語句に関する問題にそれぞれ答えなさい。

受験番号

問一 次の各文にある——線の慣用句の空らんに入る漢字一字を、後の記号ア～ソからそれぞれ選んで答えなさい。(同じ記号は一度しか使えません)

- ①先生がいくら叱つても海子さんには()の耳に念仏だ。
 ②そんなくだらないことでけんかしたなんて話、()も食わないよ。
 ③細かいところを気にして修正をしたら全体のバランスが崩れてしまった。角をためて()を殺しちゃったなあ。
 ④遠足に持って行けるお菓子は三百円までなんて、そんな金額じゃあ()の涙ほどしか買えないよ。
 ⑤星子さんは、目の前の出来事を見て、()に「つままれたような顔をしていた」。
- ア 雀 イ 猫 ウ 象 エ 鼠 オ 羊 カ 牛 キ 鷹 ク 豚 ケ 犬 コ 鳥
 サ 狸 シ 狐 ス 兎 セ 犀 ソ 馬

問二 次の空らんに適切な漢字一字をそれぞれ入れて、下の意味を表す慣用句を完成させなさい。

- ①他山の()…他人の失敗を自分のいましめとして生かすこと。
 ②()羽の矢が立つ…多くの中から選びだされること。
 ③魚心あれば()心…相手がこちらに好意を持てば、こちらもその好意に応じる気持ちが生まれること。
 ④青菜に()…急に元気をなくしてしよげること。
 ⑤()不足…その人の持つ能力に比べ、あたえられた仕事に軽すぎること。

問三 次の各文の共通する体の一部を含む慣用句の中で、用法がまちがっているものを、それぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ①「腹」
 ア 痛くもない腹を探られる…海子さんは何もしていないのに痛くもない腹を探られて怒っていた。
 イ 背に腹はかえられない…本当はこのフィギュア付きのお菓子を買いたいけれども、背に腹はかえられないなあ。このお金でおにぎりを買おう。
 ウ 腹を割る…星子さんとお互い腹を割って話をして、無事仲直りすることができた。
 エ 腹がすわる…私は恐怖で完全に腹がすわってしまい、立ち上がることができなくなった。
- ②「頭」
 ア 頭をかかえる…とても難しい問題を目の前にして、星子さんはとうとう頭をかかえてしまった。
 イ 頭をもたげる…辛いこともあったが、私は希望に頭をもたげて、前に進んでいくことにした。
 ウ 頭が切れる…海子さんは、突然の出来事にもすばやく対応することのできる、頭が切れる人物だ。
 エ 頭から湯気を立てる…前からぶつかってきた人が謝りもせず立ち去ったので、私は頭から湯気を立てていた。

- ③「鼻」
 ア 鼻もちならない…海子さんの他人をばかにするような話し方は、本当に鼻もちならなくて、嫌だ。
 イ 木で鼻をくくる…友達に悩み事を相談してみたら、木で鼻をくくったような態度をとられて悲しかった。
 ウ 鼻を明かす…相手が先に鼻を明かしてくれたので、安心して話し合いを進めることができた。
 エ 鼻にかける…星子さんはお父さんが大企業の社長であることを、いつも鼻にかけている。

問四 次の空らんに入る、元の言葉の反対の意味の言葉として最もふさわしいものを、それぞれ漢字二字で答えなさい。ただし、①については、読みが「て」から始まることばを漢字で答えなさい。

- ①人工 ↓ (て) () ②主観 ↓ () ()
 ③権利 ↓ () () ④単純 ↓ () ()

受験番号
名前

問一 (一)	a
問二	1
問三	2
問四	3
問五	b
問六	4
問七	c
問八	ね
問九	d

問一	1	20
問二	2	
問三	3	
問四	4	
問五	イ	
問六	ア	
問七	イ	
問八	ア	
問九	ア	
問十	イ	

問一 (二)	1	25
問二	2	
問三	3	
問四	4	
問五	イ	
問六	ア	
問七	イ	10
問八	ア	
問九	イ	
問十	ア	15

問一	①
問二	②
問三	③
問四	④
問五	⑤
問六	⑥
問七	⑦
問八	⑧
問九	⑨
問十	⑩